



国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都港区新橋5-15-5
交通ビル4階
発行責任者 杉本洋一
編集責任者 小山謙一

JR東海が3・0カ月回答

職場からの運動を継続しよう

貨物は未回答、バスは交渉継続中

年末手当

〈参考〉

・35歳ポイント

基礎給は 315,000円

支給額は 94.5万円

(*支給額は百円単位を

四捨五入して万単位で表示)

・35歳ポイント基礎給の内訳

基本給 271,900円

調整手当 26,200円

扶養手当 16,900円

役付手当 0円

補償措置額 0円

旅客

回答に対する判断

東海本部は、JR東海会社が回答した3・0カ月に対して、支給月数が昨年を上回るにあたり、「安全輸送に努力してきた社員に報いての判断」について

国労東海本部は、10月22日にJR東海に対して「年末手当3・5カ月の要求」を申し入れて以降、3回の交渉を行ってきました。会社は11月8日、「3・0カ月(支給日12月10日以降)」との回答を行いました。(左に参考を掲載)

JR貨物とは4回の交渉(11月15日現在)を行いました。が、未だに回答はありません。ジェイアール東海バスとの交渉は、現在交渉中です。

は評価できるものの、国労要求3・5カ月を下回ったこと、増税や物価上昇など生活が厳しい状態になることなどをはじめ、国労が主張してきた内容があまり加味されていないことについては不満であるとして、持ち帰

貨物

社員の生活に目を向けて回答せよ

国労本部は、JR貨物会社と年末手当の交渉を4回にわたって行ってきました。

東海本部は検討した結果、補給措置額が基準額に含まれていることや、年末をむかえる社員や家族の生活を配慮し、11月8日に妥結しました。

生活のできる年末手当を!

賃金抑制計画の一環?

低額回答

「この給をきいかなを二層に突く」

国鉄労働組合東海本部
国労東海貨物協議会

冬は1.4ヶ月??

東海本部と貨物協議会で作成した低額回答を許さない「年末手当ピラ」



会社は交渉で、「第3回交渉における貴側の指摘を受け止め社内

「11・11貨物総行動」2面に記事を掲載

国労本部は、引き続き取り組みの強化を指示しています。

「これまでの交渉経緯を踏まえた社員の生活改善に目を向けた回答を行うよう強く求めておく」と、主張してきました。

検討してきたが、現時点で考え方に変わりはなく、夏同様に厳しいものにならざるを得ない」と主張し続けています。

国労は、「前年の支払い実績、前年度の決算、中間決算、今日の収入動向などを判断する基準としてきたのが経緯である。その経緯を反故にして「鉄道事業部門の黒字化」を「現下の状況」として主張するだけでは労使の歩み寄りを見出す交渉ではない」

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しつかり組み合わせる幅広く保障します。



火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

高裁勝利へ全力あげよう

18000人が結集して誓い合う



集会に参加した各団体の幟旗200本以上が壇上に勢ぞろい。高裁勝利に向けて全力を尽くすことを誓い合った

「JAL不当解雇撤回 高裁勝利！早期解決をめざす10・25大集会」が10月25日、都内で取り组まれました。

この日は、日航本社前 宣伝・要請行動に始まり、霞が関一帯での宣伝・要請行動と続き、18時半からは文京シビック

ホールで「10・25大集会」が開かれ、会場いっぱい18000人が参加。高裁勝利・早期解決に向けて全力を尽くすことを誓い合いました。

集会で上条弁護士長が裁判の状況を報告。「解雇の不当性が明らかにした」ことを強調しました。各地の代表から決意表明が行われ、勝利判決獲得、争議の全面解決に向けてともに闘おうと呼びかけました。

国労もこの行動・集会を取り組み、名古屋、静岡、新幹線の各地本から多くの組合員が参加しました。

運輸・車両協議会が委員会開催

東海本部の運輸協議会と車両協議会は、定期委員会を開催し、12年度の経過承認と13年度の活動方針を決定しました。

運輸協議会第25回委員会

運輸協議会委員会は10月18日、京都市内で開催されました。冒頭、芝田議長は、「本部・地方交渉の充実を目指し、新幹線・静岡・名古屋、各地方運輸の取り組みと交流や職場の問題点を議論していただくこと、職場からの運動を強化し、職協運動の前進を目指して行きましょう」と挨拶しました。

強い交渉をお願いしたい」等の意見が出されました。

車両協議会第13回委員会

藤井議長は挨拶で、「組織拡大が重要になっている。他労組の仲間との話し合いを通じた要求作りが重要だ」と指摘しました。

また委員会では、「セントラル病院での肺ドックに対して補助金がでるようになった。更なるドックの充実を目指して欲しい」「運輸職場の強い要求であるノーネクタイについて会社の対応が変わらないのは非常に残念だ。引き続き次回以降も粘り

委員からは、「整備会社の人も通るが安全チョッキ着用が徹底されていないので、触車事故につながる恐れがある」「9月に全組合員集会を開催。組織拡大、耐震対策、リニア問題の話が多くあった」「4月に地震が発生した。早朝時間帯で作業検査は屋根上、床下、客室検査の最中であつたにもかかわらず、会社は一切指示がなかった。問題点を集約し、支援を求め、社に要求を出された」等の意見が出されました。

国労は11月11日、JR貨物会社の期末手当低額回答を許さない取り組みとして「賃金抑制反対、期末手当の低額回答をさせない11・11貨物総行動」を行いました。

13時からJR貨物本社要請行動、新宿花園西公園よりJR貨物本社前までの宣伝デモ行進を行い、15時30分からは参議院会館において院内集会を行いました。石上執行委員長の挨拶のあと、社民党・吉田忠智参議院議員と共産党・辰巳

低額回答は許さないぞ

「11・11貨物総行動」

孝太郎参議院議員が連帯の挨拶を行いました。

続いて、全国貨物協議会議長、北海道・西日本貨物協議会議長、東海本部より決意表明がされました。院内集会終了後2人1組のグループを組み衆参国土交通委員へ、JR貨物の線路使用料問題とダイヤ調整問題に対する要請等を行いました。



貨物本社前でデモ行進する参加者

東海本部からも静岡から10人、名古屋からは自費で3人が参加し、デモ行進・要請行動等を精力的に取り組みました。なお東海本部は貨物協とピラを作成(1面に掲載)し、宣伝・要請行動を展開しています。



(上)運輸協第25回委員 (下)挨拶する車両協の藤井議長

「がん」の保障 < 生きるためのがん保険 Days(デイズ) >

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円	生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン
	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円	◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円	入院給付金日額10,000円 定期タイプ保険料
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円	払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円	35歳 45歳 55歳 65歳
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円	男性 3,656円 5,608円 9,360円 15,190円
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに	10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで)	女性 3,734円 5,274円 6,864円 9,048円
(上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	1ヵ月 5万円	<抗がん剤治療特約の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。>
	訪問面談サービスと専門医師紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)		<募集代理店> アベニール株式会社 AF007-2011-0186 4月25日
	プレミアムサポート		TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。